

「環境未来都市」構想推進フォーラムin近畿
平成23年5月10日

環境未来都市への取り組みと 国際連携の期待

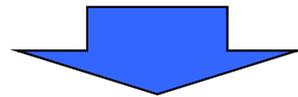
東洋大学特任教授
(独)国立環境研究所
環境都市研究プログラム統括
名古屋大学連携大学院教授
国連大学客員教授

藤田 壮 (fujita77@nies.go.jp)

低炭素化社会・日本を目指す戦略

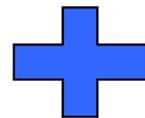
日本の中長期目標（日本としては2050年までの長期目標として60%－80%の削減）

- ・平成22年10月に地球温暖化対策基本法案の閣議決定「2020年に25%、2050年に80%削減」



- 革新技術の開発と既存先進技術の普及
（技術開発と再生エネルギーと省エネの普及）

- 国全体を低炭素化へ動かす仕組み
（排出量取引、税制改革、見える化）



- 地方の力・環境モデル都市（2008～）
（都市・地域の一体的な低炭素化の取り組み）

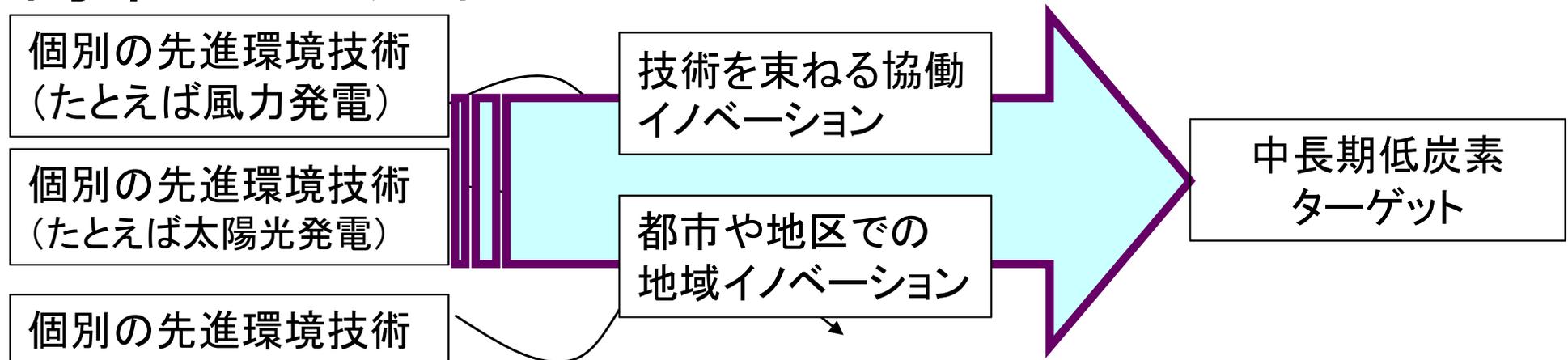
低炭素社会を先導する「環境都市」

- 単独のイノベーションから協働型の社会イノベーションの実現

Technology Innovation →

System Innovation or Collective Innovation

- ベストプラクティスからの社会システムへの階層的イノベーションへ

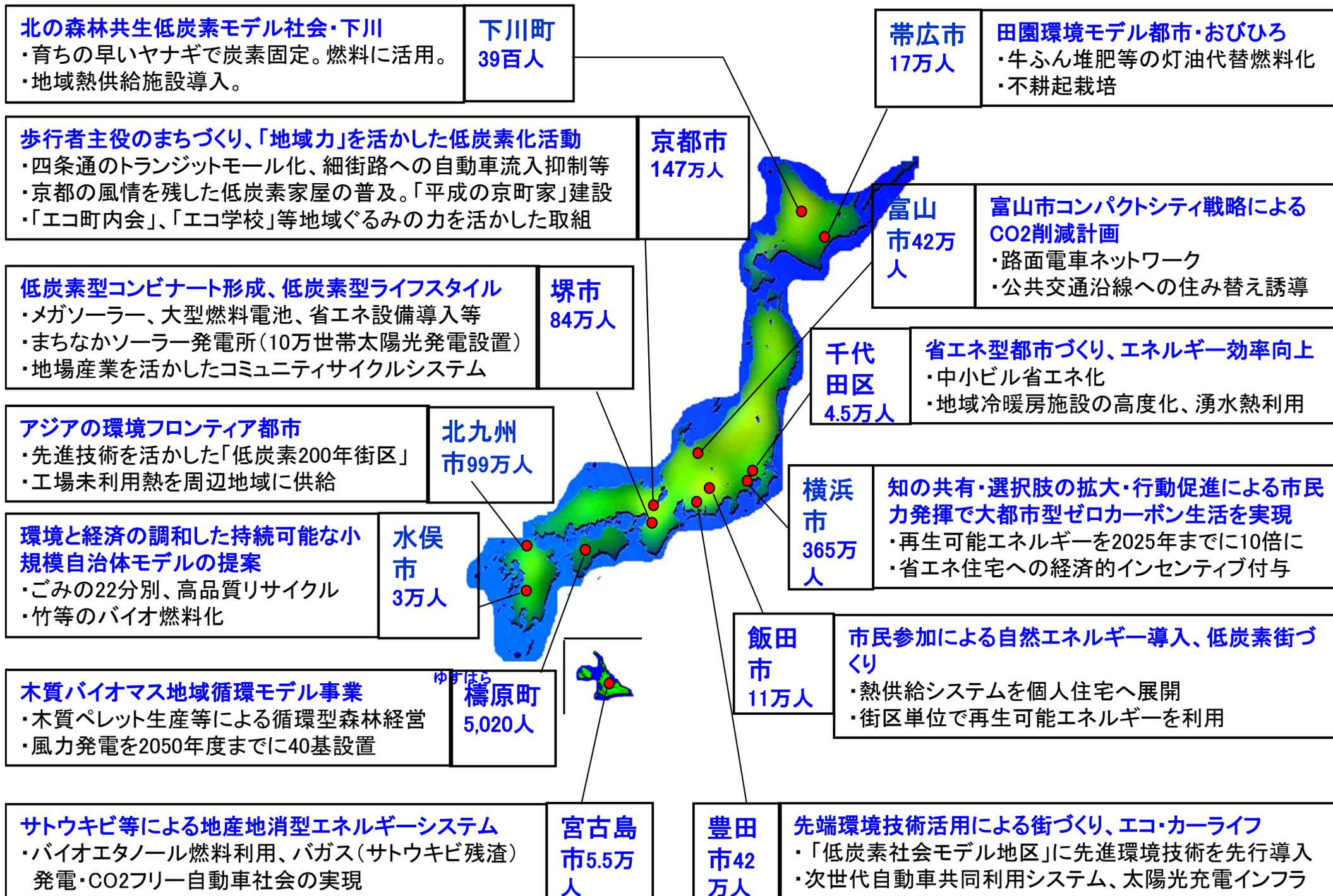


個別の環境技術
イノベーション

環境都市の
社会イノベーション

環境モデル都市における主な取組

内閣官房地域活性化統合事務局資料より



環境モデル都市の意義

①多数の多様な自治体からの意欲的な申請

- ・政令指定都市から人口数千人の自治体まで80を超える自治体が申請
- ・13の環境モデル都市の選定

②環境政策、都市政策をふくむ統合的アプローチ

- ・エネルギー、都市更新、資源循環、市民行動、森林バイオマス、水資源・里山保全循環など横断的な政策検討
- ・国内外での間接的な低炭素効果の算定

③独創的なアクションプログラムの提示

- ・低炭素化重点地区、モデル街区の選定

経済と環境が調和する都市の形成に向けて

●環境モデル都市(2008～)

(都市・地域の一体的な低炭素化の取り組み)

●低炭素都市推進協議会

●低炭素都市づくりベストプラクティス

(2010～)

●環境未来都市(2011～)

世界に冠たる「環境・未来構想」の作成とそれに基づく集中投資で、成功事例を作り、国内普及・国際展開

21の国家戦略プロジェクトとしての環境未来都市構想(内閣府資料より)

需要面の政策対応による押し上げ

環境・エネルギー

- 「固定価格買取制度」の導入等による再生可能エネルギー・急拡大
- 「環境未来都市」構想
- 森林・林業再生プラン



健康(医療・介護)

- 医療の実用化促進のための医療機関の選定制度等
- 国際医療交流(外国人患者の受入れ)



アジア

- パッケージ型インフラ海外展開
- 法人実効税率引き下げとアジア拠点化の推進等
- グローバル人材の育成と高度人材の受入れ拡大
- 知的財産・標準化戦略とクール・ジャパンの海外展開
- アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)の構築を通じた経済連携戦略



観光立国・地域活性化

- 「総合特区制度」の創設と徹底したオープンスカイの推進等
- 「訪日外国人3,000万人プログラム」と「休暇取得の分散化」
- 中古住宅・リフォーム市場の倍増等
- 公共施設の民間開放と民間資金活用事業の推進



供給面の政策対応による押し上げ

科学・技術・情報通信

- 「リーディング大学院」構想等による国際競争力強化と人材育成
- 情報通信技術の利活用の促進
- 研究開発投資の充実



雇用・人材

- 幼保一体化等
- 「キャリア段位」制度とパーソナル・サポート制度の導入
- 新しい公共



金融

- 総合的な取引所(証券・金融・商品)の創設を推進

環境未来都市への期待

○環境未来都市低炭素都市を形成することによる日本発信の「環境イノベーション」技術・施策のパッケージのアジア展開

- 低炭素モデル地区形成による環境イノベーションの社会実証モデル集積の形成

○日本とアジア、欧米の環境都市連携による低炭素ナレッジの共有と補完効果

- 都市・環境技術の効果を高める空間形成(スマートゾーニング)と地域マネジメント制度
- 間接・内包低炭素効果・環境効果の受益者を含む緩やかな環境事業ファイナンスシステム
- **地区マネジメントを含む低炭素(自立)**

ガバナンスシステム

国際社会での日本の低炭素都市

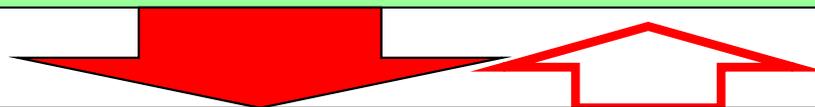
欧米における低炭素都市の知識と知恵（西洋スタイル）；

- ・脱産業化・脱物質化が進行する中での低炭素化
- ・市民・企業の高い環境配慮と多主体の連携力・都市マネジメント力



日本発信の低炭素都市の知識と知恵；**日本低炭素スタイル**

- ・目標達成型の技術開発力・製品開発力を生かす低炭素パッケージ（装置技術・ネットワーク技術・社会技術の組み合わせ）
- ・市民・企業の環境意識の醸成を含む社会ガバナンスシステム
- ・公害体験をベースにする環境行動力をもつ地域社会



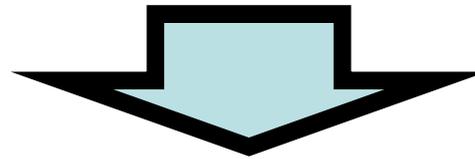
アジアにおける低炭素都市の取り組み；アジアスタイル

- ・産業化と経済成長と連動する低炭素化の推進
- ・トップダウンの事業推進と政策実行力

低炭素都市に向けての自治体の取組み戦略

【個別の技術・個別主体・個別建物での低炭素化】

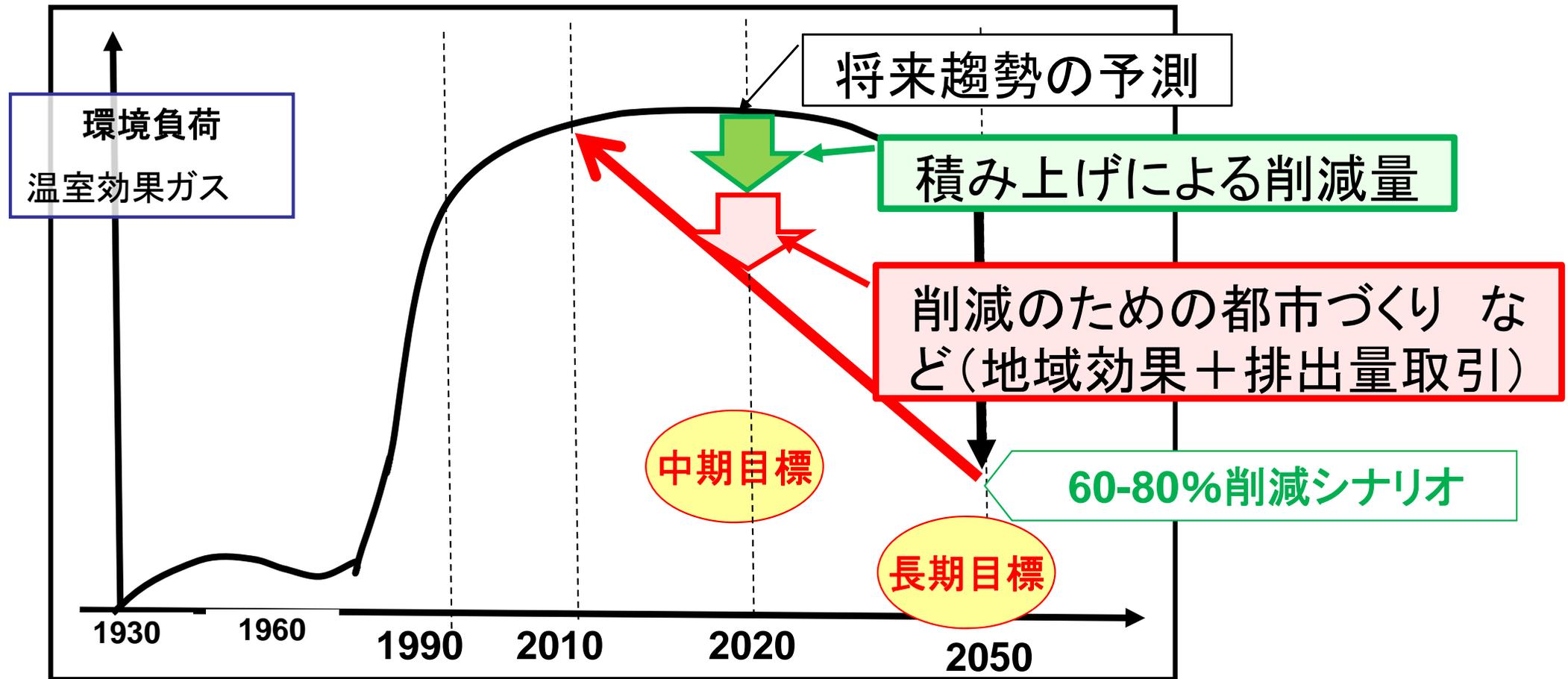
- ・省エネルギービル、太陽光発電、産業セクター別対策、森林再生他
- ・短期的な効果実現が可能、排出主体責任が明確



【複合技術・複合主体・社会制度での低炭素化】

- コンパクト都市; 土地利用規制、インフラ整備、建替誘導
- 低炭素街区; AreaEMS、地域熱源利用、緑化活用
- 低炭素産業地区; 資源循環、都市産業連携(熱・資源)、
廃棄物での天然資源代替
- 里山都市連携; バイオマス資源活用、緑地ネットワーク
・地域環境資源活用

地方実行計画での低炭素化中期目標へ対応



環境都市では都市・地域の環境資源、社会資源を活かした社会資本整備などの提案が必要

低炭素都市の世界の経験を一般化して地域に展開する計画評価手法の開発(たとえば低炭素都市シミュレーションシステム)

